



令和4年度

学校だより

12月号

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～

横浜市立岩崎小学校

電話 331-5123

FAX 331-5343

体験的な学びを大切にしたい

校長 小林 雅弘

10月から11月にかけては、各学年で遠足や社会科見学などの校外学習が行われました。昨年度までは新型コロナウイルス拡大防止の観点からなかなか出掛けることができず、3年ぶりの実施となる学年がほとんどでした。各学年の様子を少しご紹介します。

10月4日(火)には、3年生が「新江ノ島水族館」に遠足に行きました。3年生にとっては、小学校に入学して初めて観光バスに乗っていく遠足です。水族館ではイルカショーを見たり、たくさんのめずらしい魚を鑑賞したりしました。「校長先生、新種の『オトヒメクラゲ』見てきたよ!」嬉しそうに報告してくれた子どもの表情が印象的でした。

11月7日(月)には、4・5組が「八景島シーパラダイス」に出掛けました。野島宿泊学習が中止になった代わりに、区の個別支援学級が合同で行う日帰り遠足です。瀬戸ヶ谷小の児童と一緒にバスに乗り、現地で保土ヶ谷区10校合同による出発式を行った後、それぞれ水族館の見学をしました。マンボウの大きさに驚いたり、ペンギンのかわいさに見入ったりする姿が見られました。

翌日8日(火)には、5年生が「日産自動車工場」へ社会科見学に行きました。しばらく感染症対策で工場側が見学を受け入れていませんでしたが、今年度は人数制限をしながらも実際に工場内を見ることができました。自動車がラインに乗りながら組み立てられていく光景に、子どもたちは興味津々の様子でした。

11月11日(金)には、4年生が関内ホールへ「バレエ鑑賞」に出掛けました。初めて保土ヶ谷駅に集合し電車で行く校外学習でした。先に日ノ出町から野毛の丘をのぼり、高台から吉田新田の場所を確認した後、関内まで歩きました。「ここが昔は海だったなんて信じられない。」「こんな広い土地を埋め立てるなんて、きっと大変だったろうな。」実際に歩く体験を通して先人の苦労や願いを考えることができました。

11月14日(月)は1・2年生が合同で「ズーラシア」に遠足に出掛けました。3年ぶりの実施なので遠足そのものが初めての2学年。当日は、縦割りのグループで動物を見たり、お弁当やおやつを食べたりと笑顔で過ごすことができました。常に1年生を気にかける2年生の姿に感心しました。

11月17日(木)は6年生が社会科の歴史の学習の一環として「鎌倉」へ行きました。4年生同様、保土ヶ谷駅に集合し電車で鎌倉へ。源頼朝の墓や鶴岡八幡宮を散策し、源氏山公園で昼食をとった後、高德院で鎌倉大仏を見学しました。日光修学旅行の経験が生かされていると感じました。

一人一台のタブレットが導入されて1年近くが経ちます。もちろんそういった情報端末を有効に活用することで学習の幅は大きく広がりました。

しかし、やはり実際にその場所を訪れ、自分の目で実物を見たり体験したりする学びは、バーチャルの世界では得られない貴重なものです。

これからも情報端末を効果的に使いこなす力を身に付けつつも、これまで同様、体験的な学びを重視していきたいと考えています。



※各学年の活動の詳細は、中ページをご覧ください。